

2019年
2/2 (土)

演題

ゆげ 勇人講演会

市民に必要とされる、県と県議会の役割とは

●ゲスト講演 片山善博

早稲田大学大学院教授／元総務大臣
元鳥取県知事

●時間 18時 受付開始
18時30分 開演
19時30分頃 閉演

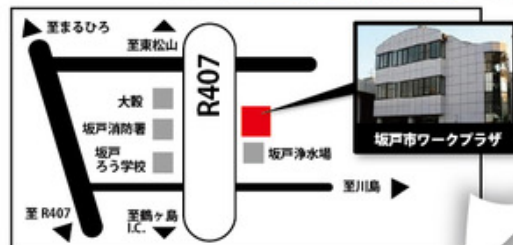


●事前申し込み不要

●入場無料

●場所 坂戸市
ワークプラザ

坂戸市大字石井 2327-5
(国道407沿い、保健所の横)



11月20日付けで
市議会議員の職を辞しました。

私が議員を志したのは、現実を変えるためです。

県の力をテコにして、坂戸新時代を作ります。



ゆげ 勇人 プロフィール

1973年10月23日生 坂戸市清水町在住

履歴

坂戸あずま幼稚園 卒園
坂戸市立千代田小学校 卒業
坂戸市立千代田中学校 卒業
埼玉県立朝霞西高等学校 卒業
明治学院大学 卒業
坂戸理容美容専門学校 卒業(理容師)
立教大学大学院 修了(経営学修士)
早稲田大学大学院 修了(公共経営修士)

現在

理美容室8店舗、ドック美容室1店舗 経営
学校法人 北埼玉学園
グルノーブル美容専門学校 経営
坂戸市立千代田中学校 前PTA会長(4期)
西武文理高校 北斗星の会 学年委員(3期)
第一住宅坂戸団地自治会 青年会会長(4期)

ゆげ 勇人 事務所

ゆげ 勇人

検索

住所 〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田 1-4-17 電話 049-283-0922

FAX 049-283-0923 メール yugehayato@gmail.com

無所属

坂戸新時代
プロジェクト

ゆげゆげ



GOGO

ゆげ 勇人
はやと

県の仕事は市民のサポートだ。

県は県民のために存在しています。ですが、県民といっても、坂戸市に住む県民、さいたま市に住む県民、秩父市に住む県民では、行政ニーズに違いが出て当然です。だからこそ、**県が行いたい事業を実行するというのではなく、**

【市が必要と考える事業に、県が予算措置をする】という姿が、市民にとって最も有益であると思います。
つまり、県が決めるのではなく、市が決めたものを県がサポートするという流れ、市から県という流れを作るべきです。



市の財源だけでは困難な新規事業に、県は補助を出すべき。

給食費無料化や奨学金返金支援制度など、市の財源だけでは実施が難しい事業に、2分の1や3分の1の県補助が出れば、実現可能性は高まります。奨学金返金補助制度はすでに24の都道府県で実施されています。

交通弱者対策を、県はサポートすべき。

市民バスは県内63市町村中41で実施されており、全て赤字運行となっています。**運行予算は全て市の財源**です。坂戸市も約9千万円の予算を使っています。交通弱者対策を市町村だけに任せるのではなく、県もサポートすべきです。本来ならば、県が補助をしても良い事業だと思いますが、補助が難しいならば、市町村をまたがった広域な市民バスルートの新設を県が旗を振り行うべきです。現状は、他の市民バスとの連携がうまく図れていません。**例えば、「さかっちバス」と、「もろバス」や「川越シャトルバス」との連携**による、埼玉医大ルートの新設等、広域な市民バス交通網の整備を図るべきです。

小中学生の医療費補助は、県が予算を出すべき。

中学生までの医療費無料化は県内全市町村で行われています。ですが、未就学児の県補助はありますが、小中学生分の予算は市町村が出しています。**県内全ての市町村で実施しているのだから、県が負担すべき**ではないでしょうか。そうすれば、その分の市の財源が浮き、新たな事業に使うことも可能になります。

ゆけゆけ
GOGO



現在の
事業の
流れ

事業の
流れをこう
変えたい



埼玉県

市民

坂戸市

坂戸市

市民

埼玉県



危険な通学路対策に、県はもっと協力すべき。

信号機や横断歩道の設置は、**埼玉県警を管轄する県の仕事**です。しかし要望を出しても、なかなか設置が進みません。そこに住む者にしか本当の危険は理解できません。もっと市民の声を県は聞くべきです。

水害対策に、県は真摯に取り組むべき。

ゆけゆけ
GOGO

高麗川上流、飯盛川、葛川は埼玉県の管理となっています。近年の集中豪雨により、各地で水害が発生しています。地域住民、水防団、市職員が水害対策に奔走しています。市は県に水害対策の要望を出していますが、整備がなかなか進まない状況にあります。市民の生命・財産は最優先で守るべきです。